



# 地域と共にある学校

## 地域運営学校成果検証調査報告【概要版】

杉並区教育委員会では、地域と共にある学校づくりを進めています。

地域と共にある学校とは、子どもを中心に据えて、様々な立場の多様な人々が世代を越えて関わり、学校を学び合いの拠点にしていこうというものです。

そうした学校づくりの基盤となる施策として、平成 17 年度から地域運営学校(コミュニティ・スクール、以下「CS校」)の取組みを始めました。平成 26 年度現在、全小中学校の約 4 割にあたる 27 校が指定され、平成 33 年度には全校指定を目標としています。

CS校では、地域住民や保護者、学識経験者、校長が「学校運営協議会」の場で意見を交わし、校長が作成した学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べるといった取組を行っています。

このたび、CS校の指定をはじめて 10 年目の節目を迎え、その成果を検証するために「地域運営学校成果検証アンケート調査」を行い、その結果を報告書としてまとめました。

報告書の全文及びアンケート調査の単純な集計結果については、教育委員会ホームページに掲載しています。この概要版と合わせてご覧いただき、地域と共にある学校づくりの推進について、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

### I 杉並区地域運営学校の成果検証調査

#### 1 調査の概要

【調査の時期】平成 26 年 5 月～6 月

(1) 児童・生徒対象調査 (杉並区特定の課題に対する調査および意識・実態調査より)

調査対象：杉並区立小学校 4・5 年生及び中学校 2・3 年生

回収数：小学校 4 年生 (全校参加) 2,982 人 (回収率 99%)

5 年生 (42 校中 34 校参加) 2,382 人 (回収率 99%)

中学校 2 年生 (23 校中 21 校参加) 1,893 人 (回収率 96%)

3 年生 (23 校中 21 校参加) 1,707 人 (回収率 96%)

(2) 教員対象調査

調査対象：区立小中学校の教員

回収数：1,266 人 (回収率 85%)

(3) 地域住民・保護者対象調査

調査対象：杉並区内全区立小中学校の地域住民・保護者 各校 22 名

回収数：1,329 人 (回収率 93%)

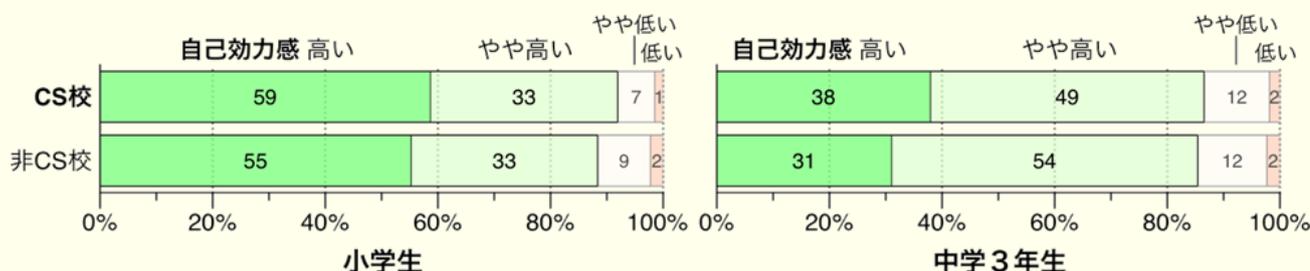
(4) 学校運営協議会委員対象調査

調査対象：CS校に指定している杉並区内区立小中学校の委員

回収数：199 人 (回収率 83%)

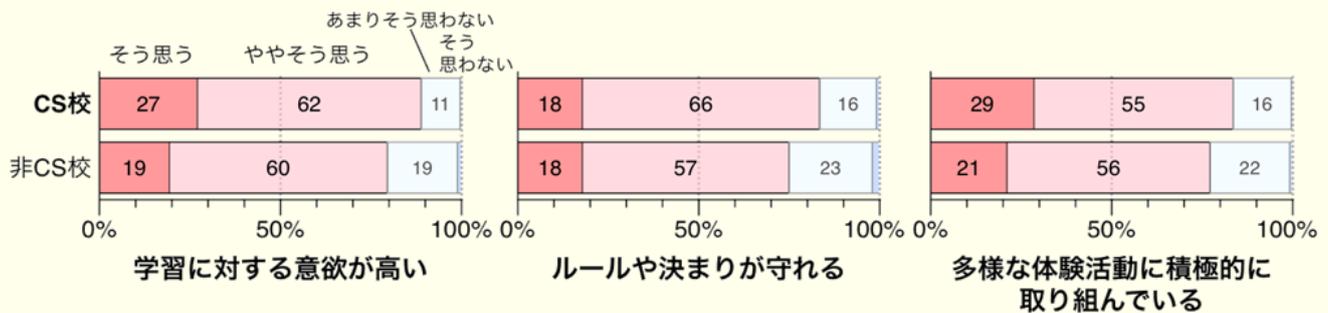
#### 2 結果の概要

##### CS校の児童・生徒は、「自己効力感」が高い



小学校の場合、CS校の児童は非CS校児童に比べて自己効力感の「高い」カテゴリーに含まれる割合が多く、反対に「やや低い」「低い」児童の割合が少なくなっています。中学生（中学2年・3年の全データ）で見ると、自己効力感とCS導入の有無との関連は、前掲の学校生活の充実度と同様に統計的有意差の認められない結果となりました。しかし、中学3年生に限定してみると、小学校児童の場合と同様にCS校の生徒の方が、非CS校の生徒よりも自己効力感が「高い」割合が多いという関連が認められます。

## CS校の教員は、自校児童・生徒を肯定的に評価する割合が多い



教員調査では、教員の観点から児童・生徒への評価について問いを行いました。CS導入の有無別にみると、児童生徒の肯定的評価として取り上げた7項目のうち5項目において、統計的有意差が見られ、その全ての分析においてCS校の教員の方が非CS校の教員に比べて、「そう思う」「ややそう思う」といった肯定的評価の割合が高い結果となりました。具体的には、CS校の教員は、児童生徒の学習意欲、ルール遵守、体験活動への積極的取り組み、地域活動への積極的参加、地域の大人への挨拶などの様々な面で児童生徒の肯定的評価の割合が高くなっています。

## CS校の住民や保護者は、学校の運営支援活動に参加している

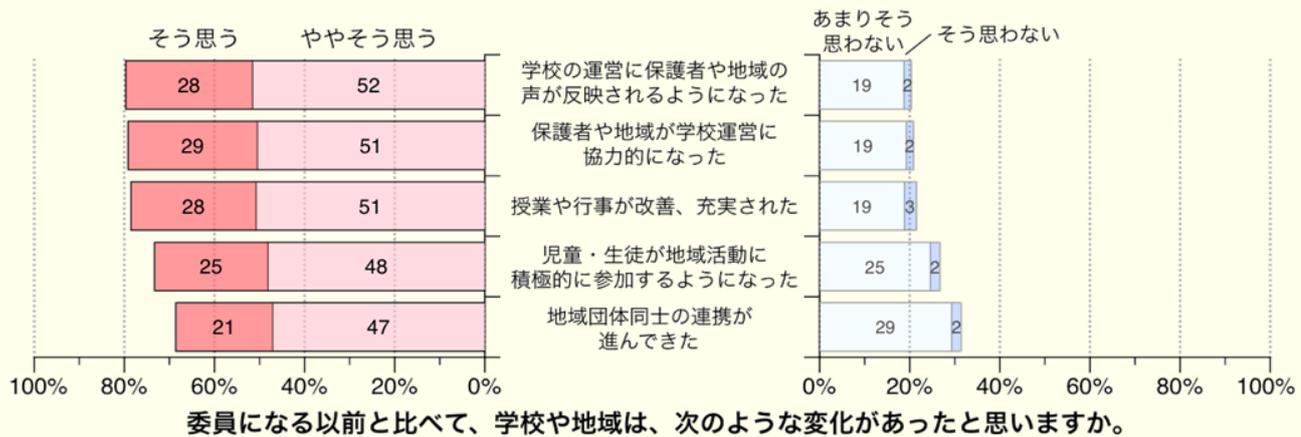
表4-2-1 CS導入と地域住民・保護者の「正規授業でのティーチング・アシスタント経験」の有無との関連

		ティーチング・アシスタント 経験の有無		合計
		なし	あり	
CS校の地域住民・保護者	度数	444	68	512
	%	86.7%	13.3%	100.0%
非CS校の地域住民・保護者	度数	740	75	815
	%	90.8%	9.2%	100.0%
合計	度数	1184	143	1327
	%	89.2%	10.8%	100.0%

CS導入は、地域住民や保護者の学校支援活動経験、特に授業等運営支援への参加率とも関連が見られました。CS校の地域住民・保護者の方が、過去に正規授業において、ティーチング・アシスタント（授業補助）として活動した経験者が多く、CS校の地域住民・保護者ではティーチング・アシスタントの経験者は13.3%であったのに対し、非CS校は9.2%でした。



## 学校運営協議会委員は、CS校の指定により学校や地域に変化があったと感じている



上記表の5項目の中で、回答結果に占める「そう思う」「ややそう思う」の肯定的回答率が高い結果となっています。肯定的回答率の合計は、5項目共に約70%~80%にのぼっており、学校運営協議会委員の多くは、自身が委員になる以前と比べて、児童・生徒、学校や地域がそれぞれ良い方向に変化したと認識しています。

## II 地域運営学校の校長の取組に関する意識調査

### 1 調査の概要

【調査時期】平成26年9月

【調査対象】調査時現在、地域運営学校（以下、「CS校」）に指定している杉並区内区立小中学校の校長

【回収数】26人（回収率100%）

### 2 結果の概要

#### CS校に指定されて、児童・生徒の教育環境が豊かになった

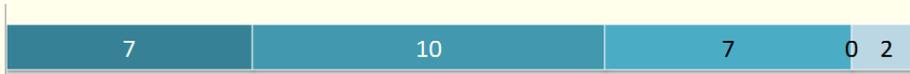
■とても豊かになった ■やや豊かになった ■あまり豊かになっていない ■全く豊かになっていない ■無回答



- ピオトープや通学路の安全について学校運営協議会で議論され、学校支援本部（学校の求めに応じて授業・環境整備等の支援を行うボランティア組織）との連携で改善された。
- 教職員が地域連携を前提に考えるようになり、学校内で完結しない教育実践が推進されている。
- ◆学校支援本部は欠かせないが、学校運営協議会は委員間でその存在意義が明確化されていない。

#### CS校への指定は、学校を取り巻く住民や保護者の意識や行動の活性化に寄与した

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない ■無回答



- 学校運営協議会委員が保護者会等で直接話す場面を多く作り、学校への理解が深まってきている。
- 町会や商店会とのつながりがより一層強化され、情報の共有、情報発信が円滑になってきている。
- ◆学校運営協議会委員の意識は高いが、住民や保護者の活性化に結びつくには時間が必要である。

## 「調査を終えて」(地域運営学校成果検証調査・調査協力者からのコメント抜粋)

■ 学校、家庭、地域の連携による教育の成果として期待できるものは、学校教員、校長、保護者や地域住民、CS委員など、子どもを取り巻く大人に様々な変化が生じるという事実である。子どもを取り巻く大人の意識や行動の変容は、本調査においても多面的に表出している。学校、家庭、地域の連携による教育によって、保護者や地域住民が子育ての当事者意識をより強く持つことで、大人自身も変わるのかも知れない。学校・家庭・地域の連携による教育効果として、児童・生徒の意識・行動の変容の他、子どもを取り巻く大人にとってもプラスの効果や変容が期待できるならば、さらに益々、CS導入をはじめとする学校・家庭・地域の連携による教育を推進する意義が高まる。(文教大学 金藤 ふゆ子)

■ 調査結果を踏まえた子供への教育効果を考えると、第一に、CS校制度導入により地域の人々が学校と関わることで、子供が保護者以外の大人と接触することが可能になる。核家族、きょうだい数の減少など一世帯あたりの人員が減っている中で、学校は、かつての地域社会や拡大家族が担っていた機能を代替することが期待される。このことは、学校が多様な年齢層や職種の人々と子供が関わる場を提供するということである。第二に、CS校は、学習環境に人的資源、学習資源、物的資源など様々な地域資源の導入を可能にする。これからの学校は社会から隔絶されることなく、多様パートナーと連携・協働して、変化の激しい社会の現実をその学習環境に取り込むことが期待される。(国立教育政策研究所 岩崎 久美子)

## 調査協力者(執筆分担)一覧

金藤 ふゆ子 氏(文教大学 人間科学部 教授)

I 杉並区地域運営学校の成果検証調査、「調査を終えて」

岩崎 久美子 氏(国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部総括研究官)

「調査を終えて」

土屋 隆裕 氏(統計数理研究所 データ科学研究系准教授)

I 杉並区地域運営学校の成果検証調査・統計及びグラフ作成

## CS校一覧(平成27年3月現在)

### 【小学校(指定年度)】

杉並第一(H20)／東田(H26)／桃井第四(H17)／荻窪(H25)／沓掛(H20)／高井戸(H23)／高井戸第二(H25)／富士見丘(H21)／大宮(H26)／堀之内(H22)／方南(H24)／三谷(H17)／松ノ木(H24)／高井戸東(H26)／久我山(H26)／天沼(H22)／永福(H25) 計17校

### 【中学校(指定年度)】

杉森(H17)／天沼(H21)／中瀬(H24)／井荻(H25)／井草(H19)／荻窪(H21)／富士見丘(H23)／向陽(H17)／松ノ木(H25)／和田(H19) 計10校

地域と共にある学校 地域運営学校成果検証調査報告【概要版】

平成27年3月発行

杉並区教育委員会事務局 学校支援課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111(代表)

「地域と共にある学校 地域運営学校成果検証調査報告」の全文および集計結果は、

杉並区教育委員会ホームページ(<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>)でご覧になれます。